

令和5年度地域おこし学校  
こうちみませ楽舎「プレミアムクラス」  
第2回レポート (8/19)



先月、令和5年度の地域おこし学校「こうちみませ楽舎」プレミアムクラスがスタートしました。プレミアムクラスとは、受講生の”やりたい”を具体化し、実現に向けて「学び」と「実践」を積み上げるステップアップ教室です。

さて、今回は2回目の講義「百聞は一見に如かず-地域課題を現場で学ぼう!-」のレポートになります。レッツゴー♪

一般財団法人地域活性化センター 新事業企画室長 吉弘拓生氏から前回の講義の振り返りとアイデアを実行に移すための話からスタートしました。吉弘氏は「限られた時間・資源・人材」を大切にしてください。「まずは、身近にあるモノの価値を自分たちでしっかりと掴もう」と説きます。

身近な取り組みを理解することで、今後のアイデアの基盤になる。地域の中で巡回していく。この部分は決して無視できません。

【愛着】【誇り】【想い】をモノサシにして、地域の特色を積み上げていきましょう。

この後は、今回のメイン「長浜・御豊瀬・浦戸地域を巡回するフィールドワーク」の時間です。事前に下調べをしてきた受講生もチラホラ。意識の高さが伺えます。





【御昼瀬漁港】



【天満宮（御昼瀬）】

まず、御昼瀬地域からスタート。かつて漁業で栄えたまち。その名残は各所にあります。この日は、晴天。真っ青な大空と穏やかな時間が漁港内に流れていました。



【3地域を網羅したマップ】



【気づいた点を全てメモする受講生】

今回、受講生たちは3地域のマップを片手にフィールドワークを行いました。手掛かりになるものがあると、筆が進みます。皆さんしっかりと書き込んでいました。とある受講生は「歩きながら目で見て、感じたことをすぐにメモしておくことで、記憶として定着しました。来週からの学校の授業でもちゃんとメモを取るように心がけたい。」と発言していたのが印象的でした。

フィールドワーク以外の場面でも、メモを取ることを習慣化していきたいですね。



【浦戸漁港】



【どろめ漁（生しらす）について】

次は浦戸地域。浦戸漁港にはどろめ漁の船がありました。

昨年、広報紙の取材でどろめ漁師の密着取材を行った地域おこし協力隊が取材時の様子を話すと、受講生たちは興味津々！！

「同行取材に自信はない」「船で酔います」「興味あるけれど、ドキドキしちゃう」とそれぞれの反応。



【長宗我部元親像前で記念撮影】



【若宮八幡宮（長浜）】

最後は、長浜地域で歴史について触れました。若宮八幡宮の境内には、カラフルな風鈴とミストがいかにも涼しげな様子。フィールドワークでの熱気を一旦冷ましました。

今回のフィールドワークは、スタッフが説明するだけでなく、受講生にも知っていることを話してもらうようお願いしました。いきいきとお話してくれる受講生とたくさん質問をする受講生。良い交流が生まれた時間でした。

フィールドワーク後、みませ楽舎に戻り、本日のおさらいと地域を巡回した感想をワークシートに記入する時間となりました。それぞれの気づきをしっかりメモに書き留めていたので、前回よりスラスラと記入できたようです。

今回のタイトル通り“百聞は一見に如かず”の時間となったのではないのでしょうか。



フィールドワークを終えて、地域の現状に触れた受講生たち。

次回の講義までに、地域状況とニーズを把握した上で、自分の興味や意欲と結び付けて、課題解決の一步を目指します。

一緒に頑張りましょう！！